



2020 年度

「学生による授業改善アンケート」全学集計結果報告書

2021 年 9 月

学部 P. 1～P. 16

大学院 P. 17～P.38

発行：法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター

1. はじめに

2004年度から開始した「学生による授業評価アンケート」は、2005年度よりFD推進センター（現教育開発・学習支援センター）が主催する形として、これまでに16年間実施してきました。アンケートは、2009年度の期首・期中・期末の実施、教員への非公開を担保した記名式の導入を踏まえ「学生による授業改善アンケート」へ名称変更され、2014年度の秋学期よりWeb形式で実施するなど改善を図ってきました。2017年度からは、アンケート項目を5問とする大幅な改定を行い、アンケートは授業内で実施いただくよう、協力をお願いしました。

2020年度春学期は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言から非常時の大学運営を求められるなかで、新システムでアンケートを実施した場合、通常授業時と同様の効果測定や運用の実現が困難であることに加え、問い合わせ対応や不測の事態に備えるなど十分な事務処理体制の確保が困難であることから、本アンケートは実施されませんでした。なお、その代わりとして「オンライン授業に関する学生対象アンケート」が実施されました。秋学期は、2020年12月7日（月）～2021年2月10日（水）の期間に実施しました。4期制の学部は2020年10月26日（月）～2020年11月16日（月）にも実施しました。

本学は法学部（市ケ谷キャンパス）、文学部（市ケ谷キャンパス）、経営学部（市ケ谷キャンパス）、国際文化学部（市ケ谷キャンパス）、人間環境学部（市ケ谷キャンパス）、キャリアデザイン学部（市ケ谷キャンパス）、デザイン工学部（市ケ谷キャンパス）、グローバル教養学部（市ケ谷キャンパス）、経済学部（多摩キャンパス）、社会学部（多摩キャンパス）、現在福祉学部（多摩キャンパス）、スポーツ健康学部（多摩キャンパス）、情報科学部（小金井キャンパス）、理工学部（小金井キャンパス）、生命科学部（小金井キャンパス）の15学部から構成され、さらに同じ学士課程として通信教育学部（法学部・文学部・経済学部から構成）が加わります。

2020年度秋学期の通学課程のアンケート対象全科目数は5,107科目でした。そのうち、アンケートに回答があった科目数は4,527科目（89%）であり、結果として16%の回答率（回答した学生数／回答が想定される全学生数の百分率）を得るアンケートを取得することができました。また通信教育課程のアンケート対象全科目数は191科目、そのうち、アンケートに回答があった科目数は162科目（85%）でした。なお回答率すべてのアンケートデータは巻末に実数として収録しています。

本アンケートの対象は本学学部で開講する全科目ですが、少人数制やゼミや研究の授業形態など明確な理由から2020年度秋学期の通学課程では1,178科目（全体の19%）のアンケートを非実施としました。非実施科目を科目種別で見ると、講義では162科目（講義全体の7%）、演習では634科目（演習全体の40%）、語学では185科目（語学全体の11%）、実験では41科目（実験全体の21%）、実技では15科目（実技全体の14%）であり、少人数で行う語学科目やゼミや研究がメインとなる科目で多くなります。これらの非実施科目では、独自のアンケートを行うなどの個別対応が行われています。

本年度アンケートを無事に終了できたのは、教職員ならびに各関係者のみなさまのご協力なしでは成し得ないことであり、「授業改善アンケート」を含め教育開発・学習支援センターの活動へのご理解について心から感謝を申し上げます。また、本年度アンケート結果の集計と分析を記した本報告書が、関係者各位の本学における「教育および学びの質の向上」の一助になれば幸甚に存じます。

2. 全学集計結果について

本報告書では、5段階の選択回答を求めた問1～問4の単純集計とそれぞれの分析、問3の回答に対する問1と問2のクロス集計とそれぞれの分析、問4の回答に対する問1、問2、問3のクロス集計とそれぞれの分析を記しました。

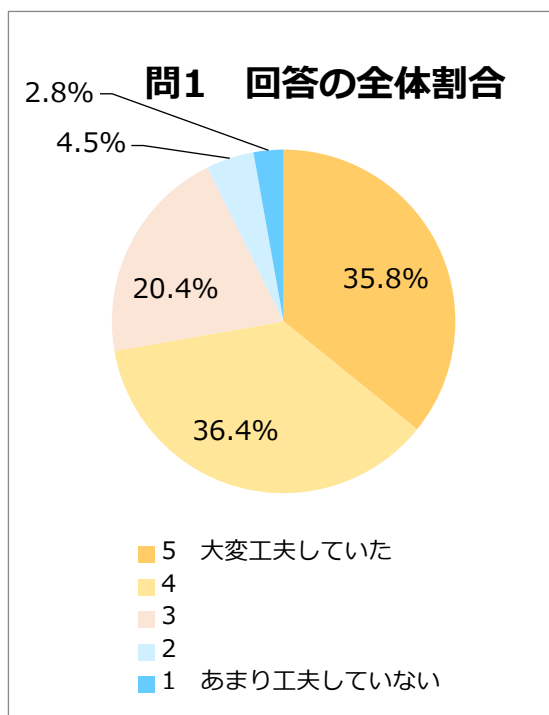
教育開発・学習支援センターの主たる目的である「教育および学びの質の向上」ですが、教職員側と学生側とはその捉えるポイントに少しギャップがあります。そこで、問1～問3に関わる「教員の教授」と問4に関わる「学生の修学」に分け、教職員側もしくは学生側から見える本学授業の現状を理解しやすく示しました。具体的には、「教員の教授」では理解度を問う問3を中心とした分析、「学生の修学」では満足度を問う問4を中心とした分析を行っています。

また、問1～問4の単純集計は学年別、科目種類別、履修選択別、担当教員別、科目設置主体別で集計し、全学平均値と比較した分析を行っています。さらに、アンケート回答傾向の経時推移を見るため、問1～問4の回答平均値と回答学生数の経時変化を示しました。

3. 教員の教授に関するアンケート回答について

(1) 授業の工夫に対する学生の受け止め

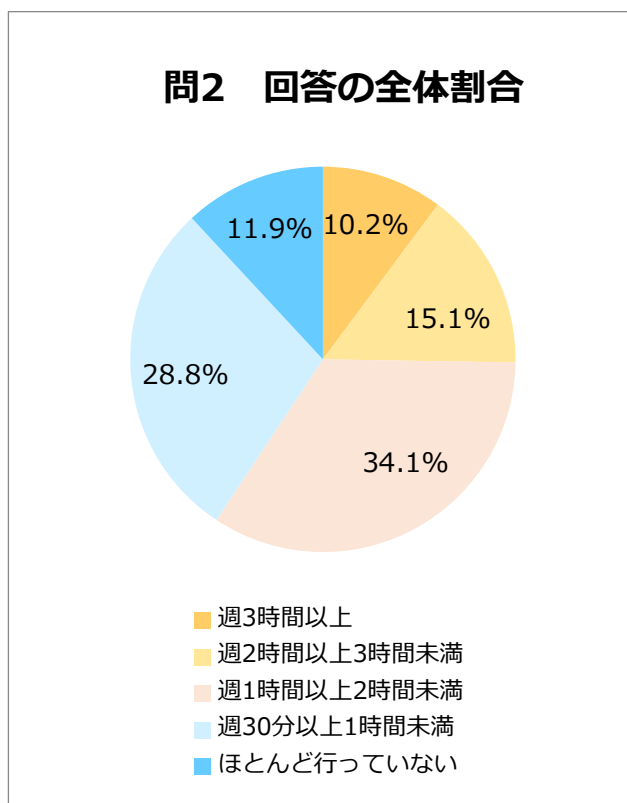
「学生による授業改善アンケート」の問1は、授業の工夫に対する学生の受け止めを5段階評価として尋ねています。問いは「この授業では、積極的な工夫がされていきましたか。」とし、それに続き、回答へある程度のイメージをもってもらうために「例えば、熱意、授業方法、板書法、スクリーンの見やすさ、話し方、課題や主体的な学びへの促しなど。(5段階評価でご回答ください)」を追記しています。全体の回答割合を見ると、大変工夫していた「5」と「4」を合わせた72.2%の学生が授業に工夫があったと受け止めていました。一方、あまり工夫をしていない「1」と「2」を合わせた7.3%の学生は授業の工夫を求めていました。平均値は3.98、中央値は4であるので、全体的には授業に工夫があったと評価したことになります。



(2) 授業外での学習への取り組み

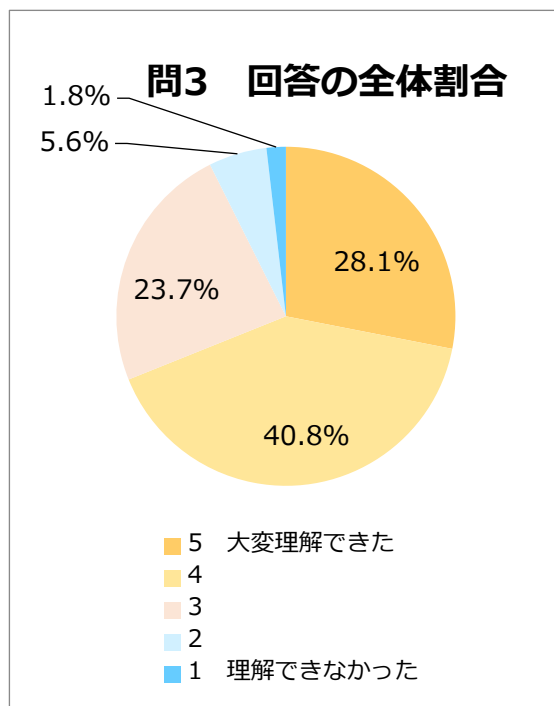
「学生による授業改善アンケート」の問2は、授業外での学習への取り組みを5つの選択肢から尋ねています。問いは「この授業に関しては、授業時間につき、平均してどれくらいの授業外学習をしていますか。」とし、それに続き、回答へある程度のイメージをもってもらうために「例えば、予習・復習、課題、授業内容に関する図書・情報収集など、友人や教員との討論や質問も含む。」を追記しています。全体の回答割合を見ると、週1時間以上の授業外学習を行った学生は59.4%でした。一方、授業外での学習をほとんど行っていない学生は11.9%でした。大学設置基準は、学生が予習・復習に相当の時間をかけることを前提に到達目標をさだめて授業を行うように規定しています。また、2012年8月に中央教育審議会が公表したいわゆる「質的転換答申」では、「事前準備・授業受講・事後展開を通して主体的な学修に要する総学修時間の確保が不可欠」との認識が示されており、2104年12月に公表された答申でも、アメリカの大学生に比べて日本の大学生の学習時間が短いことが指摘されています。それらを踏まえると、今後も、学生の授業外学習時間をいかに確保していくかが課題になると思われます。

2019年度の全体の回答割合を見ると、週1時間以上の授業外学習を行った学生は32.0%でした。一方、授業外での学習をほとんど行っていない学生は38.1%でした。2019年度と2020年度秋学期を比較すると、授業外学習の時間は大幅に増加したことになります。この結果は、コロナ禍のオンライン講義において学生が、平常時の対面授業よりも、授業外学習の時間を多く必要したことを示唆していると思われます。



(3) 講義内容の理解度

「学生による授業改善アンケート」の問3は「この授業内容を理解できましたか。(5段階評価でご回答ください)」として講義内容の理解度を尋ねています。概ね理解できた学生に当たる「5」「4」の回答割合は68.9%でした。一方、理解が困難であった「1」「2」を回答した学生は7.4%でした。平均値は3.88%、中央値は4であるので、全体的には理解できたと自己評価したことになります。



(4) 理解度と教授方法に関する回答との関連

講義内容の理解度と授業の工夫に対する学生の受け止めの関連を調べるため、問3（理解度）と問1（授業の工夫の受け止め）のクロス集計を行いました。問3（理解度）と問1（授業の工夫の受け止め）ともに「5」と回答した学生が21.3%、ともに「4」と回答した学生が22.4%、ともに「3」と回答した学生が11.1%でした。視覚的に理解しやすくするため人数が多いセルを緑に、人数が少ないセルを白色になるようにカースケールを施しました（以下、同様）。

理解度（問3）と授業の工夫（問1）が、無関係（独立）であるかどうかを（カイ二乗検定を用いて）調べると、無関係ではないことがわかりました。またクラメールの連関係数を計算すると0.44となり、強い関係があることがわかりました（クラメールの連関係数は、 >0.25 で強い関係、 $0.1\sim 0.25$ で関係あり、 0.1 で弱い関係を示す）。授業の工夫が原因で理解度が結果であるという因果関係を厳密に検証してはいませんが、逆の因果関係、第三の要因による疑似相関ではなく、因果関係を示唆していると考えられます。

問1 × 問3		問1 授業の工夫					計
		5	4	3	2	1	
問3 理解度	5	21.3%	5.4%	1.1%	0.2%	0.1%	28.1%
	4	11.8%	22.4%	5.9%	0.6%	0.2%	40.8%
	3	2.5%	7.8%	11.1%	1.7%	0.6%	23.7%
	2	0.3%	0.8%	2.0%	1.7%	0.8%	5.6%
	1	0.0%	0.1%	0.3%	0.3%	1.1%	1.8%
計		35.8%	36.4%	20.4%	4.5%	2.8%	100.0%

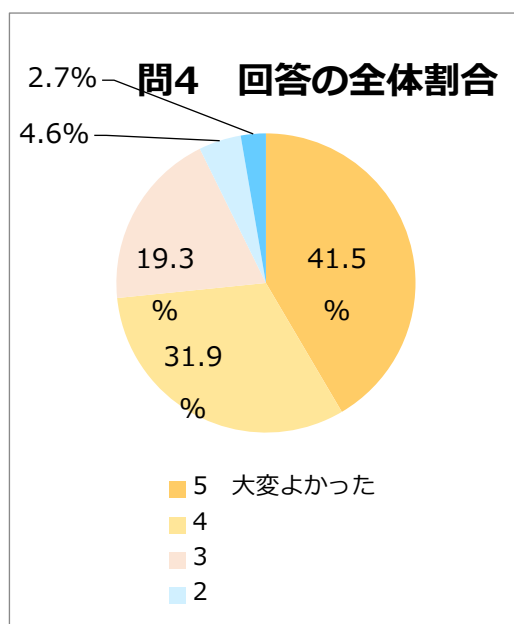
次に、講義内容の理解度と授業外での学習への取り組みの関連を調べるため、問3（理解度）と問2（授業外学習時間）のクロス集計を行いました。高い割合を示したのは、問3（理解度）に「5」から「3」、問2（授業外学習時間）に「3」もしくは「2」と回答した学生で、全体の59.1%を占めます。理解度（問3）と授業外学習時間（問2）が、無関係（独立）であるかどうかを（カイ二乗検定を用いて）調べると、無関係ではないことがわかりました。またクラメールの連関係数を計算すると0.12となり、やや弱い関係があることがわかりました。

問2 × 問3		問2 授業外学習時間					計
		5	4	3	2	1	
問3 理解度	5	4.2%	4.7%	9.4%	7.4%	2.3%	28.1%
	4	3.4%	6.9%	14.8%	12.1%	3.7%	40.8%
	3	1.8%	2.8%	8.1%	7.3%	3.7%	23.7%
	2	0.5%	0.6%	1.4%	1.7%	1.4%	5.6%
	1	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.9%	1.8%
計		10.2%	15.1%	34.1%	28.8%	11.9%	100.0%

4. 学生の修学に関するアンケート回答について

(1) 講義の満足度

「学生による授業改善アンケート」の問4は「この授業を履修してよかったですか。(5段階評価でご回答ください)」として講義の満足度を尋ねています。概ね満足した学生に当たる「5」「4」の回答割合は73.4%でした。一方、不満を示す「1」「2」を回答した学生は7.3%でした。平均値は4.05、中央値は4であるので、全体的には満足したと評価したことになります。不満を示す「1」「2」を回答した学生の割合7.3%は看過できなく、その要因を明らかにしていく必要があると考えられます。



(2) 満足度と教授方法に関する回答との関連

講義の満足度と授業の工夫に対する学生の受け止めの関連を調べるため、問4（満足度）と問1（授業の工夫の受け止め）のクロス集計を行いました。問4（満足度）と問1（授業の工夫の受け止め）に対して、ともに「5」と回答した学生が29.1%、ともに「4」と回答した学生が20.2%、ともに「3」と回答した学生が11.0%でした。

満足度（問4）と授業の工夫（問1）が、無関係（独立）であるかどうかを（カイ二乗検定を用いて）調べると、無関係ではないことがわかりました。またクラメールの連関係数を計算すると0.51となり、強い関係があることがわかりました。授業の工夫が原因で満足度が結果であるという因果関係を厳密に検証してはいませんが、逆の因果関係、第三の要因による疑似相関ではなく、因果関係を示唆していると考えられます。

問1 × 問4		問1 授業の工夫					計
		5	4	3	2	1	
問4 満足度	5	29.1%	10.5%	1.8%	0.1%	0.1%	41.5%
	4	5.5%	20.2%	5.6%	0.5%	0.1%	31.9%
	3	1.0%	5.2%	11.0%	1.7%	0.4%	19.3%
	2	0.1%	0.5%	1.6%	1.7%	0.6%	4.6%
	1	0.1%	0.1%	0.4%	0.5%	1.6%	2.7%
計		35.8%	36.4%	20.4%	4.5%	2.8%	100.0%

次に、講義の満足度と講義内容の理解度との関連を調べるため、問4（満足度）と問3（理解度）のクロス集計を行いました。問4（満足度）と問3（理解度）に対して、ともに「5」と回答した学生が24.8%、「4」と回答した学生が21.8%、「3」と回答した学生が12.8%でした。

満足度（問4）と理解度（問3）が、無関係（独立）であるかどうかを（カイ二乗検定を用いて）調べると、無関係ではないことがわかりました。またクラメールの連関係数を計算すると0.53となり、強い関係があることがわかりました。理解度が原因で満足度が結果であるという因果関係、逆の因果関係、第三の要因による疑似相関のいずれであるかは明確ではなく、因果関係の検証には、さらなる研究が必要と思われれます。

問3 × 問4		問3 理解度					計
		5	4	3	2	1	
問4 満足度	5	24.8%	14.5%	2.0%	0.1%	0.0%	41.5%
	4	2.5%	21.8%	7.0%	0.5%	0.0%	31.9%
	3	0.6%	3.9%	12.8%	2.0%	0.1%	19.3%
	2	0.1%	0.4%	1.5%	2.2%	0.4%	4.6%
	1	0.1%	0.2%	0.4%	0.8%	1.3%	2.7%
計		28.1%	40.8%	23.7%	5.6%	1.8%	100.0%

最後に、講義の満足度と授業外での学習への取り組みの関連を調べるため、問4（満足度）と問2（授業外学習時間）のクロス集計を行いました。高い割合を示したのは、問4（満足度）に「5」もしくは「4」と回答し、問2（授業外学習時間）に「3」もしくは「2」と回答した学生は、全体の46.6%を占めます。満足度（問4）と授業外学習時間（問2）が、無関係（独立）であるかどうかを（カイ二乗検定を用いて）調べると、無関係ではないことがわかりました。またクラメールの連関係数を計算すると0.11となり、やや弱い関係があることがわかりました。

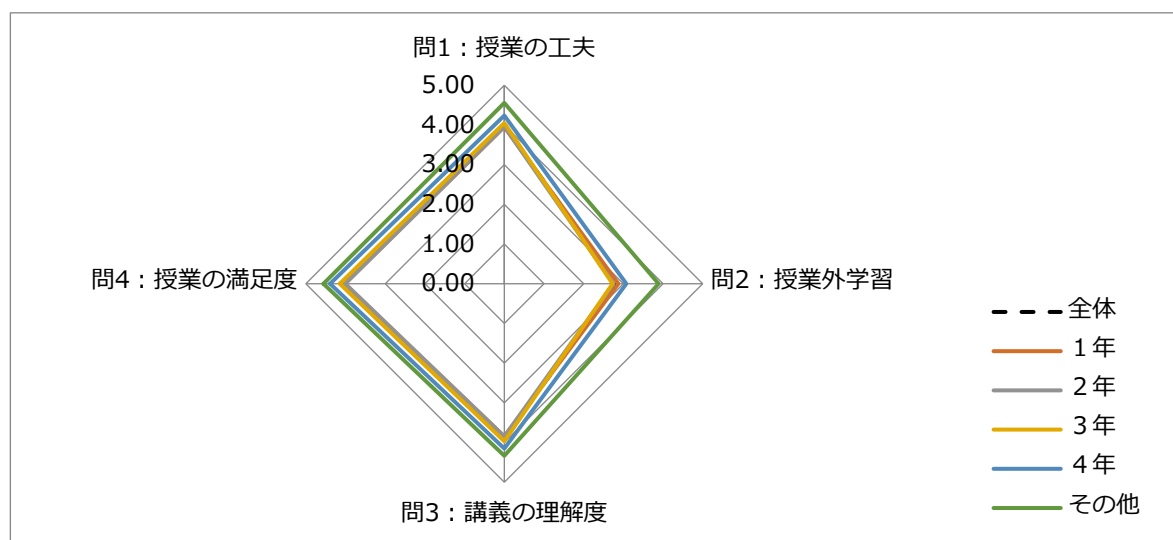
問2 × 問4		問2 授業外学習時間					計
		5	4	3	2	1	
問4 満足度	5	5.7%	7.1%	14.2%	11.2%	3.4%	41.5%
	4	2.4%	5.0%	11.4%	9.8%	3.3%	31.9%
	3	1.3%	2.2%	6.7%	5.9%	3.2%	19.3%
	2	0.5%	0.5%	1.2%	1.3%	1.1%	4.6%
	1	0.3%	0.3%	0.5%	0.6%	1.0%	2.7%
計		10.2%	15.1%	34.1%	28.8%	11.9%	100.0%

5. 各種別におけるアンケート回答傾向について

(1) 学年別

アンケート回答総数 38,431 件のうち、1 年生は 20,537 件、2 年生は 10,732 件、3 年生は 5,652 件、4 年生は 1,492 件、その他（通信教育課程）は 18 件でした。各学年別の回答集計実数は巻末データ（1）に示しています。各学年におけるアンケート回答傾向について、問1から問4のそれぞれの回答を「1」～「5」の平均値として算出し、レーダーチャートで全体と比較しました。

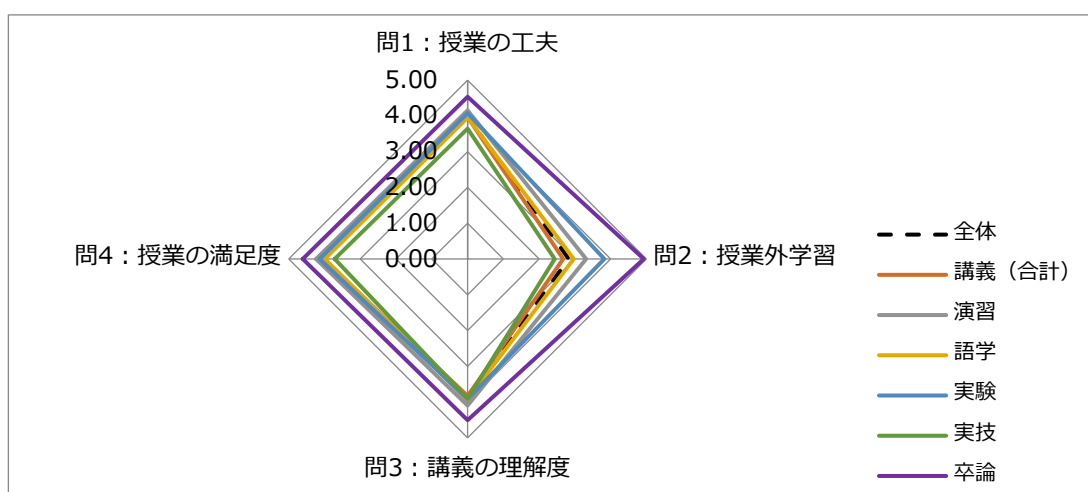
1～3 年生は全体とほぼ同じ傾向を示していました。4 年生は全ての項目が高い傾向（各平均値 授業の工夫：3.9 授業外学習：3.1 講義の理解度：4.3 授業の満足度：4.6）を示していました。その他は全ての項目が高い傾向（各平均値 授業の工夫：4.6 授業外学習：3.9 講義の理解度：4.3 授業の満足度：4.6）を示していました。ただし、その他の有効回答数は他の学年と比較すると特に少ないことを考慮する必要があります。



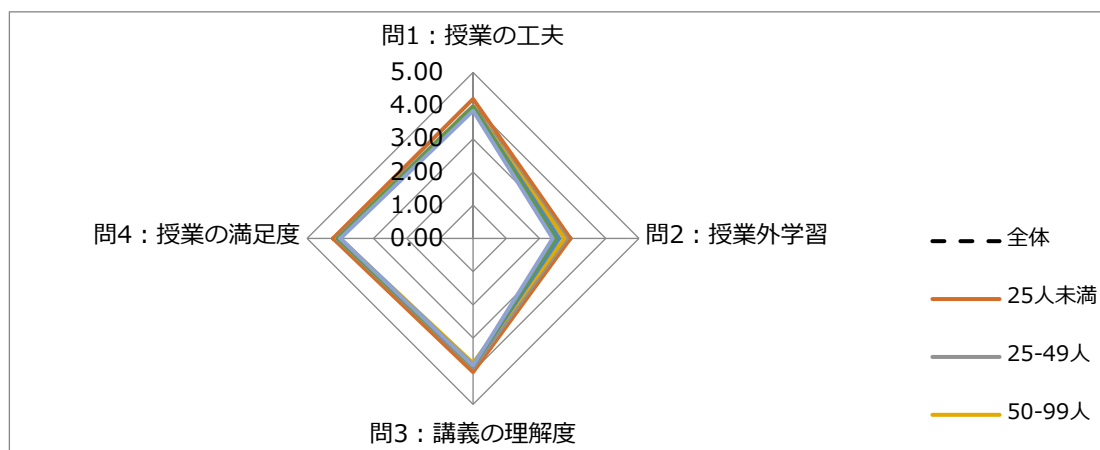
(2) 科目種類別

アンケート回答総数 38,431 件のうち、講義は 25,430 件、演習は 3,315 件、語学は 7,855 件、実験は 1,256 件、実技は 506 件、卒論は 69 件でした。また、講義の 25,430 件の受講者数規模別内訳は、25 人未満は 1,616 件、25-49 人は 3,817 件、50-99 人は 7,852 件、100-199 人は 7,485 件、200-299 人は 2,544 件、300 人以上は 2,116 件でした。各科目種別の回答集計実数は巻末データ (1) に示しています。各科目種別におけるアンケート回答傾向について、問 1 から問 4 のそれぞれの回答を「1」～「5」の平均値として算出し、レーダーチャートで全体と比較しました。

講義 (合計) と語学は全体とほぼ同じ傾向を示していました。卒論、実験、演習は全ての項目が高い傾向を示していました。一方、実技は講義の理解度は講義 (全体) と同程度 (講義の理解度 : 3.9) を示しているものの、授業の工夫、授業外学習、授業の満足度は低く、昨年度と異なる傾向を示しました。これは、コロナ禍によるオンライン授業での実技の難しさを示していると推察されます。また、学年別の結果では学年が高くなるにつれて評価が高くなる傾向があることが観察されていますが、それは高学年になると演習や実験があるためであることが推察されます。



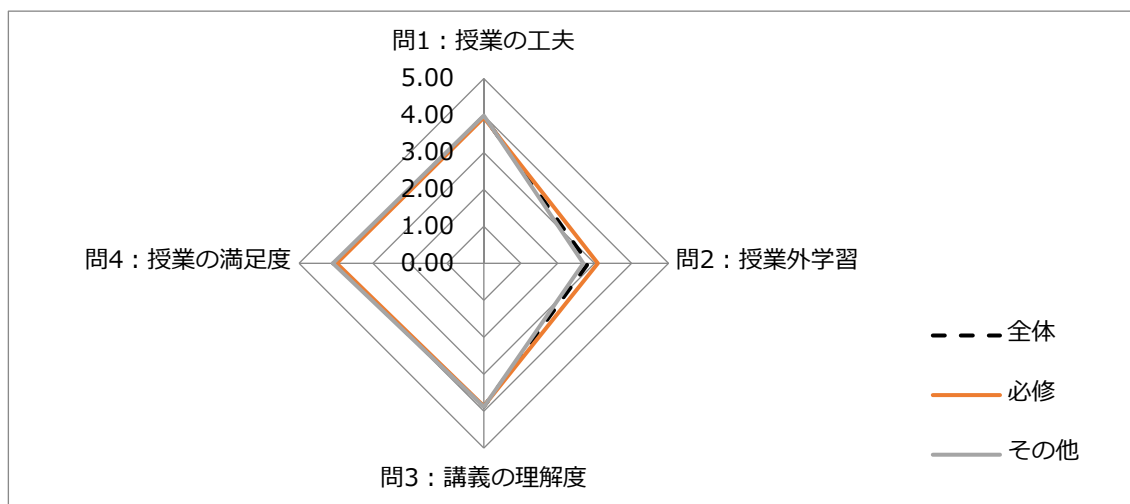
講義の受講者数規模別で見ると、25 人未満は全ての項目がわずかに高い傾向 (各平均値 授業の工夫 : 4.2 授業外学習 : 2.9 講義の理解度 : 4.0 授業の満足度 : 4.2) を示していました。授業規模が 25 人以上になると、授業の工夫・講義の理解度・授業の満足度の項目においては、授業規模 (全体) の傾向 (授業の工夫 : 4.0 講義の理解度 : 3.9 授業の満足度 : 4.1) と同程度でしたが、授業外学習の項目については授業規模が小さいほど高い値を示す傾向がありました。



(3) 履修選択別

アンケート回答総数 38,431 件のうち、必修の授業についての回答は 13,153 件、その他は 25,278 件でした。履修選択別の回答集計実数は巻末データ(1)に示しています。履修選択別におけるアンケート回答傾向について、問1から問4のそれぞれの回答を「1」～「5」の平均値として算出し、レーダーチャートで全体と比較しました。

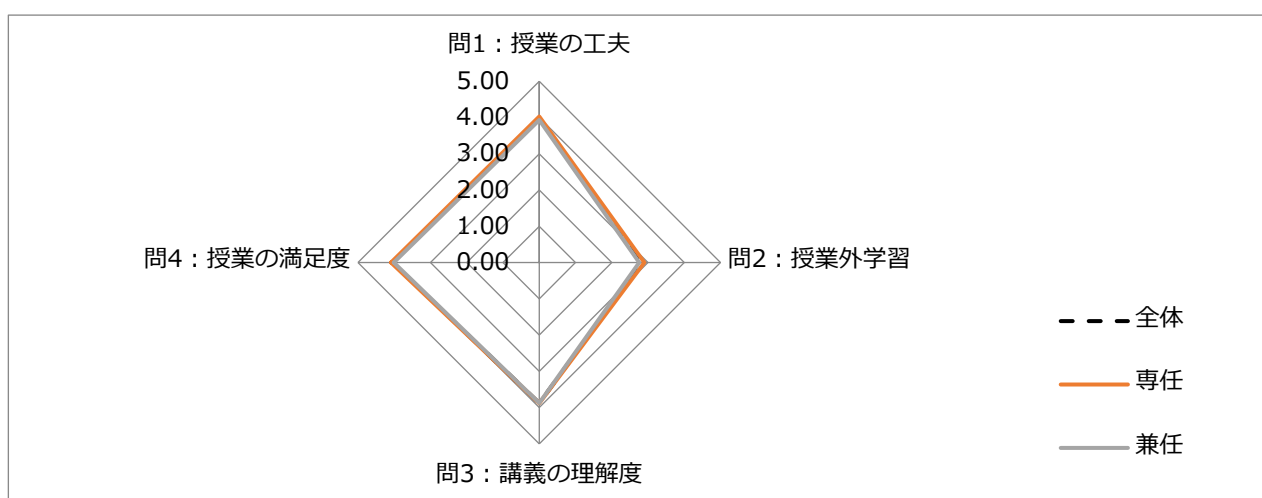
必修は授業外学習時間が多い傾向(平均値 3.1)を示していました。その他は全体とほぼ同じ傾向を示していました。必修の授業外学習時間がやや長いのは、単位がとれないと卒業できないので学生が努力するためであると思われます。



(4) 担当教員別

アンケート回答総数 38,431 件のうち、専任教員が担当する授業についての回答は 18,925 件、兼任教員は 19,506 件でした。担当教員別の回答集計実数は巻末データ(1)に示しています。担当教員別におけるアンケート回答傾向について、問1から問4のそれぞれの回答を「1」～「5」の平均値として算出し、レーダーチャートで全体と比較しました。

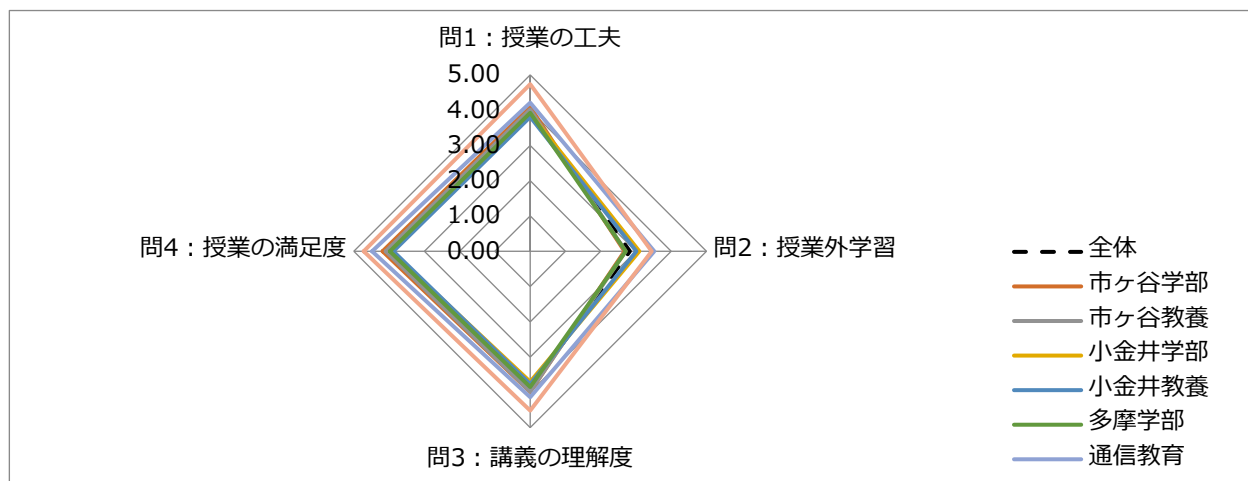
専任教員および兼任教員共に全体とほぼ同じ傾向を示していました。



(5) 科目設置主体別

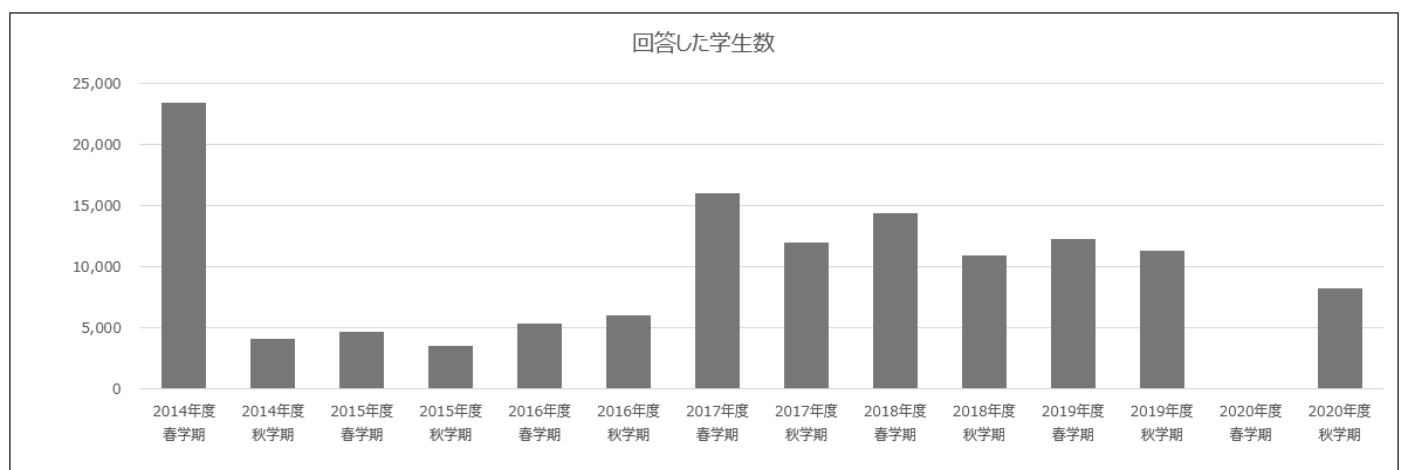
アンケート回答総数 38,431 件のうち、市ヶ谷学部は 8,740 件、市ヶ谷教養は 8,480 件、小金井学部は 8,606 件、小金井教養は 2,576 件、多摩学部は 9,098 件、通信教育は 817 件、その他 (ESOP、JLP) は 114 件でした。科目設置主体別の回答集計実数は巻末データ (1) に示しています。科目設置主体別におけるアンケート回答傾向について、問 1 から問 4 のそれぞれの回答を「1」～「5」の平均値として算出し、レーダーチャートで全体と比較しました。

市ヶ谷学部・市ヶ谷教養・多摩学部は全体とほぼ同じ傾向を示していました。小金井教養・小金井学部は授業外学習時間が多い傾向 (それぞれ平均値 3.0・3.1) を示していました。通信教育は全ての項目が高い傾向 (各平均値 授業の工夫：4.2 授業外学習：3.5 講義の理解度：4.1 授業の満足度：4.5) を示していました。その他も全ての項目が高い傾向 (各平均値 授業の工夫：4.7 授業外学習：3.5 講義の理解度：4.5 授業の満足度：4.7) を示していました。



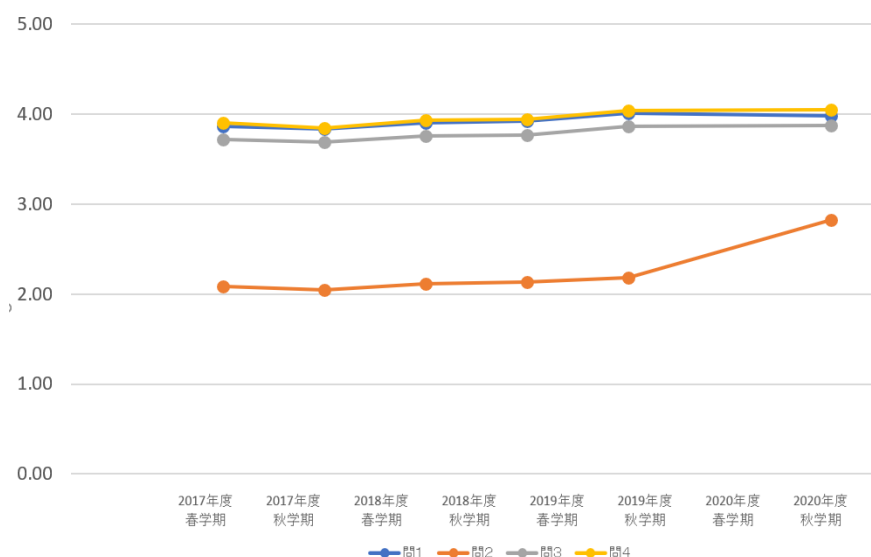
6. アンケート回答傾向の経時推移

回答した学生数の推移を見ると、紙媒体で授業内実施を行っていた 2014 年度春学期までは約 20,000 名超でした。アンケートを web 化し、実施時期を期間内任意で行っていた 2016 年度秋学期までは約 4,000 名に減少しました。2017 年度春学期から、web 化にフィットした新しいアンケート内容に刷新するとともに授業内実施としました。その結果、回答した学生数は増加し、2017 年度は 28,030 名となりました。2018 年度は 25,372 名、2019 年度は 23,553 名とやや減少傾向にあります。2020 年度春学期は、コロナ禍初期の状況を鑑みて本アンケートは実施されませんでした。そのため 2020 年度は秋学期は本アンケートが実施されたものの回答した学生数は 8,190 名にとどまりました。



各実施時期におけるアンケート回答傾向について、問1から問4のそれぞれの回答を「1」～「5」の平均値として算出し、2017年度春学期からの経時的変化を折れ線グラフで表しました。2020年度の秋学期（春学期はデータなし）の授業の工夫を尋ねた問1の平均値 4.0、講義内容の理解度を尋ねた問3の平均値 3.9、授業の満足度を尋ねた問4の平均値 4.1は、2019年度以前と概ね同程度の値を示しました。一方、2020年度秋学期の授業外学習時間を尋ねた問2の平均値 2.8は、2017～2019年度の平均値（2.0～2.2）よりも大きく上昇しました。2020年度のコロナ禍によるオンライン授業の形態のため、レポート等の課題が増えたためではないかと推察されます。

平均値	2017年度 春学期	2017年度 秋学期	2018年度 春学期	2018年度 秋学期	2019年度 春学期	2019年度 秋学期	2020年度 春学期	2020年度 秋学期
問1	3.80	3.87	3.84	3.91	3.92	4.01	-	3.98
問2	2.01	2.09	2.05	2.11	2.14	2.18	-	2.83
問3	3.64	3.72	3.69	3.76	3.77	3.87	-	3.88
問4	3.83	3.91	3.85	3.94	3.94	4.04	-	4.05



7. おわりに

学部学生は（1）本学教員の授業に対する工夫が概ね行われている印象をもち、（2）授業外学習時間は概ね週1時間以上であり、（3）概ね理解したと感じていることがわかりました。また、理解度と授業の工夫には強い正の相関関係が考えられ、授業の工夫が理解度に影響を及ぼしていると考えられます。授業外学習時間のボリュームゾーンは週1時間以上であり、昨年度のアンケートと比較して上昇し、一般的には良い傾向と言えます。2020年度の「学生生活実態調査」では、8割程度の学生が1日当たりの自習時間を1時間以上行っていると回答しており、昨年度と比較すると大幅に上昇しました。この結果は、本アンケートの結果を裏付けるものです。また、非実施科目には多くのゼミ・研究などの科目が含まれており、それらに関する学習時間が反映されていない可能性があります。各学科カリキュラムを修業する上での総合的な学習時間をもっているかもしれませんが、しかし、平均的ではありますが週1時間未満の授業外学習時間は、一般的に改善されるべきポイントだと考えます。なお、昨年度と比較して、授業の工夫、理解度、満

足度は同程度の値を示し、オンライン授業においても一定の水準を保つことができたと解釈できるかもしれません。ただし、授業外学習時間と理解度や満足度とは相関が見られず、今後の動向を検証する必要があるかもしれません。継続的な動向を確認する必要があるようですが、学部生の評価からは、本学におけるFDが推進されていると解釈できるかもしれません。

各授業が果たす目的は、所属するカリキュラム体系の位置付けにより異なる点にも留意が必要だと考えられます。また、「授業改善アンケート」の自由記述は各授業個別に活用がなされてきています。教育開発・学習支援センターでは、以下の活動が教員に対する「教育の質の向上」へのサポートに貢献できればと考えています。

- ・個別授業を支援する制度「授業リフレクションのための学生による授業参観」の提供
- ・ゼミ・研究活動の指導を支援する「ゼミ活動等を対象とした学生向けループリック」の提供
- ・最先端のFD活動を紹介するFDセミナー等の開催
- ・英語による授業を支援する「アカデミック・サポートサービス」の提供
- ・論文やレポートに対して剽窃チェックを行うソフト「Turnitin」の提供

教育開発・学習支援センターの目的は「ファカルティ・デベロップメント（FD）を中心に、本学での主体的な教育改善と主体的な学習を効果的に支援すること」と表しています。大学での「知識・技能の習得」「知識・技能を実践・応用する能力の育成」「自ら問題の発見・解決に取り組む力の涵養」を効率的に教授するために、有益なサポートを教育開発・学習支援センターでは行ってまいります。今後とも、「授業改善アンケート」をはじめ教育開発・学習支援センターの活動へのご協力をどうぞお願い申し上げます。

お問い合わせ： 法政大学教育開発支援機構教育開発・学習支援センター (<http://www.hoseikyoiku.jp/lf/>)
事務局 学務課教育支援課 Tel: 03-3264-9040 E-mail: kyoiku@hosei.ac.jp

学部データ（１）：2020年度秋学期全学集計表

問1. この授業では、積極的な工夫がされていましたか。例えば、熱意、授業方法、板書法、スクリーンの見やすさ、話し方、課題や主体的な学びへの促しなど。(5段階評価でご回答ください)

項目	回答された授業数	回答した学生数	回答総数	5 大変工夫していた	4	3	2	1 あまり工夫していない
<総計>	4,690	8,190	38,431	13,765	14,000	7,850	1,734	1,082
<学年別>								
1年	-	3,786	20,537	6,832	7,902	4,306	946	551
2年	-	2,304	10,732	3,847	3,792	2,245	518	330
3年	-	1,433	5,652	2,321	1,844	1,097	226	164
4年	-	652	1,492	754	456	201	44	37
その他	-	15	18	11	6	1	0	0
<科目種類別>								
講義（合計）	2,293	-	25,430	8,905	9,303	5,322	1,186	714
25人未満	533	-	1,616	776	511	239	59	31
25-49人	622	-	3,817	1,421	1,324	790	168	114
50-99人	596	-	7,852	2,608	2,963	1,685	390	206
100-199人	383	-	7,485	2,571	2,774	1,597	337	206
200-299人	96	-	2,544	899	934	509	124	78
300人以上	63	-	2,116	630	797	502	108	79
演習	699	-	3,315	1,447	1,167	535	104	62
語学	1,437	-	7,855	2,793	2,833	1,587	379	263
実験	137	-	1,256	454	501	259	28	14
実技	88	-	506	120	181	140	36	29
卒論	36	-	69	46	15	7	1	0
<履修選択別>								
必修	1,797	-	13,153	4,420	4,962	2,769	608	394
その他	2,893	-	25,278	9,345	9,038	5,081	1,126	688
<担当教員別>								
専任	1,966	-	18,925	7,084	6,944	3,695	745	457
兼任	2,724	-	19,506	6,681	7,056	4,155	989	625
<科目設置主体別>								
市ヶ谷学部	1,138	-	8,740	3,645	3,050	1,471	355	219
市ヶ谷教養	1,173	-	8,480	3,202	3,059	1,614	374	231
小金井学部	736	-	8,606	2,658	3,309	2,018	401	220
小金井教養	293	-	2,576	722	933	706	135	80
多摩学部	1,156	-	9,098	3,061	3,354	1,925	444	314
通信教育	163	-	817	390	271	113	25	18
その他	31	-	114	87	24	3	0	0

問2. この授業に関しては、授業時間につき、平均してどれくらいの授業外学習をしていますか。例えば、予習・復習、課題、授業内容に関する図書・情報収集など、友人や教員との討論や質問含む。

項目	回答された授業数	回答した学生数	回答総数	週3時間以上	週2時間以上 3時間未満	週1時間以上 2時間未満	週30分以上 1時間未満	ほとんど行っていない
<総計>	4,690	8,190	38,431	3,912	5,794	13,089	11,059	4,577
<学年別>								
1年	-	3,786	20,537	2,063	3,301	7,385	5,589	2,199
2年	-	2,304	10,732	977	1,516	3,559	3,253	1,427
3年	-	1,433	5,652	565	763	1,706	1,816	802
4年	-	652	1,492	299	210	437	397	149
その他	-	15	18	8	4	2	4	0
<科目種類別>								
講義(合計)	2,293	-	25,430	1,849	3,416	8,411	8,111	3,643
25人未満	533	-	1,616	174	295	552	439	156
25-49人	622	-	3,817	402	592	1,233	1,125	465
50-99人	596	-	7,852	615	1,158	2,701	2,437	941
100-199人	383	-	7,485	468	899	2,453	2,495	1,170
200-299人	96	-	2,544	109	267	825	887	456
300人以上	63	-	2,116	81	205	647	728	455
演習	699	-	3,315	805	637	968	610	295
語学	1,437	-	7,855	628	1,449	3,298	2,011	469
実験	137	-	1,256	547	229	256	162	62
実技	88	-	506	19	58	156	165	108
卒論	36	-	69	64	5	0	0	0
<履修選択別>								
必修	1,797	-	13,153	1,799	2,422	4,961	3,062	909
その他	2,893	-	25,278	2,113	3,372	8,128	7,997	3,668
<担当教員別>								
専任	1,966	-	18,925	2,307	2,973	6,293	5,219	2,133
兼任	2,724	-	19,506	1,605	2,821	6,796	5,840	2,444
<科目設置主体別>								
市ヶ谷学部	1,138	-	8,740	654	1,144	2,858	2,878	1,206
市ヶ谷教養	1,173	-	8,480	527	1,203	3,065	2,637	1,048
小金井学部	736	-	8,606	1,494	1,438	2,797	2,162	715
小金井教養	293	-	2,576	358	437	901	640	240
多摩学部	1,156	-	9,098	665	1,313	3,191	2,591	1,338
通信教育	163	-	817	193	227	235	136	26
その他	31	-	114	21	32	42	15	4

問3. この授業内容を理解できましたか。(5段階評価でご回答ください)

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	5 大変理解 できた	4	3	2	1 理解でき なかった
<総計>	4,690	8,190	38,431	10,790	15,696	9,104	2,134	707
<学年別>								
1年	-	3,786	20,537	5,268	8,760	4,983	1,147	379
2年	-	2,304	10,732	2,965	4,258	2,654	644	211
3年	-	1,433	5,652	1,930	2,101	1,235	284	102
4年	-	652	1,492	618	570	231	58	15
その他	-	15	18	9	7	1	1	0
<科目種類別>								
講義(合計)	2,293	-	25,430	6,698	10,267	6,411	1,553	501
25人未満	533	-	1,616	579	636	294	82	25
25-49人	622	-	3,817	1,129	1,513	875	227	73
50-99人	596	-	7,852	1,801	3,224	2,131	523	173
100-199人	383	-	7,485	1,952	3,017	1,918	454	144
200-299人	96	-	2,544	658	1,069	633	139	45
300人以上	63	-	2,116	579	808	560	128	41
演習	699	-	3,315	1,259	1,298	604	128	26
語学	1,437	-	7,855	2,287	3,398	1,632	380	158
実験	137	-	1,256	335	538	329	44	10
実技	88	-	506	166	179	122	27	12
卒論	36	-	69	45	16	6	2	0
<履修選択別>								
必修	1,797	-	13,153	3,492	5,590	3,115	715	241
その他	2,893	-	25,278	7,298	10,106	5,989	1,419	466
<担当教員別>								
専任	1,966	-	18,925	5,297	7,719	4,588	1,006	315
兼任	2,724	-	19,506	5,493	7,977	4,516	1,128	392
<科目設置主体別>								
市ヶ谷学部	1,138	-	8,740	2,905	3,522	1,736	446	131
市ヶ谷教養	1,173	-	8,480	2,632	3,612	1,735	391	110
小金井学部	736	-	8,606	1,721	3,522	2,609	575	179
小金井教養	293	-	2,576	589	1,043	753	134	57
多摩学部	1,156	-	9,098	2,531	3,663	2,133	550	221
通信教育	163	-	817	348	289	133	38	9
その他	31	-	114	64	45	5	0	0

問4. この授業を履修してよかったと思いますか。(5段階評価でご回答ください)

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	5 大変よかつ た	4	3	2	1 よくなかつ た
<総計>	4,690	8,190	38,431	15,959	12,248	7,422	1,761	1,041
<学年別>								
1年	-	3,786	20,537	8,053	6,886	4,098	956	544
2年	-	2,304	10,732	4,304	3,373	2,204	532	319
3年	-	1,433	5,652	2,681	1,630	959	235	147
4年	-	652	1,492	909	355	159	38	31
その他	-	15	18	12	4	2	0	0
<科目種類別>								
講義(合計)	2,293	-	25,430	10,367	8,239	5,024	1,145	655
25人未満	533	-	1,616	831	459	217	69	40
25-49人	622	-	3,817	1,744	1,106	685	174	108
50-99人	596	-	7,852	3,009	2,671	1,626	361	185
100-199人	383	-	7,485	2,931	2,447	1,555	344	208
200-299人	96	-	2,544	1,039	849	499	107	50
300人以上	63	-	2,116	813	707	442	90	64
演習	699	-	3,315	1,718	913	492	132	60
語学	1,437	-	7,855	3,108	2,541	1,529	403	274
実験	137	-	1,256	552	403	241	42	18
実技	88	-	506	159	146	131	38	32
卒論	36	-	69	55	6	5	1	2
<履修選択別>								
必修	1,797	-	13,153	4,983	4,378	2,740	665	387
その他	2,893	-	25,278	10,976	7,870	4,682	1,096	654
<担当教員別>								
専任	1,966	-	18,925	8,054	6,094	3,582	780	415
兼任	2,724	-	19,506	7,905	6,154	3,840	981	626
<科目設置主体別>								
市ヶ谷学部	1,138	-	8,740	4,289	2,535	1,349	372	195
市ヶ谷教養	1,173	-	8,480	3,690	2,699	1,514	364	213
小金井学部	736	-	8,606	2,926	3,085	1,978	412	205
小金井教養	293	-	2,576	834	874	671	119	78
多摩学部	1,156	-	9,098	3,592	2,855	1,843	471	337
通信教育	163	-	817	542	175	65	22	13
その他	31	-	114	86	25	2	1	0

1. はじめに

2004年度から開始した「学生による授業評価アンケート」は、2005年度よりFD推進センター（現教育開発・学習支援センター）が主催する形として、これまでに16年間実施してきました。アンケートは、2009年度の期首・期中・期末の実施、教員への非公開を担保した記名式の導入を踏まえ「学生による授業改善アンケート」へ名称変更され、2014年度の秋学期よりWeb形式で実施するなど改善を図ってきました。2017年度からは、アンケート項目を5問とする大幅な改定を行い、アンケートは授業内で実施いただくよう、協力をお願いしました。

2020年度春学期は、2020年7月22日（水）～2020年8月7日（金）の期間に実施しました。秋学期は、2020年12月7日（月）～2021年2月10日（水）の期間に実施しました。4期制の学部は2020年10月26日（月）～2020年11月16日（月）にも実施しました。

本学の大学院は、人文科学研究科（市ケ谷キャンパス）、国際文化研究科（市ケ谷キャンパス）、経済学研究科（市ケ谷・多摩キャンパス）、法学研究科（市ケ谷キャンパス）、政治学研究科（市ケ谷キャンパス）、社会学研究科（市ケ谷・多摩キャンパス）、経営学研究科（市ケ谷キャンパス）、公共政策研究科（市ケ谷キャンパス）、人間社会研究科（多摩キャンパス）、情報科学研究科（小金井キャンパス）、デザイン工学研究科（市ケ谷キャンパス）、政策創造研究科（市ケ谷キャンパス）、キャリアデザイン研究科（市ケ谷キャンパス）、理工学研究科（小金井キャンパス）、スポーツ健康学研究科（多摩キャンパス）の15研究科と3インスティテュート（国際日本学インスティテュート、連帯社会インスティテュート、総合理工学インスティテュート）から構成され、さらに大学院の専門職学位課程として専門職大学院（法科大学院、経営大学院）が加わります。

2020年度春学期は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言から非常時の大学運営を求められるなかで、新システムでアンケートを実施した場合、通常授業時と同様の効果測定や運用の実現が困難であることに加え、問い合わせ対応や不測の事態に備えるなど十分な事務処理体制の確保が困難であることから、本アンケートは専門職学位課程の科目についてのみ対象としました。そのため2020年度のアンケート対象の全科目数は2,043科目（春学期171科目、秋学期1,872科目）でした。そのうち、アンケートに回答があった科目数は509科目（春学期98科目、秋学期411科目）であり、結果として修士課程は春学期35.1%、秋学期24.7%の回答率（回答した学生数／回答が想定される全学生数の百分率）、専門職学位課程は春学期28.8%、秋学期36.3%の回答率を得るアンケートを取得することができました。すべてのアンケートデータは巻末に年度、春学期、秋学期別の実数として収録しています。

本アンケートの対象は本学学部・大学院で開講する全科目ですが、少人数制やゼミや研究の授業形態などの理由から博士後期課程には行っていません。また、そのため2020年度は1,389科目のアンケートを非実施としました。非実施科目を科目種別で見ると、講義では427科目（講義全体の45%）、演習では647科目（演習全体の83%）、実験では180科目（実験全体の99%）であり、ゼミや研究がメインとなる科目で多くなります。

本年度アンケートを無事に終了できたのは、教職員ならびに各関係者のみなさまのご協力なしでは成し得ないことであり、「授業改善アンケート」を含め教育開発・学習支援センターの活動へのご理解について心から感謝を申し上げます。また、本年度アンケート結果の集計と分析を記した本報告書が、関係者各位の本学における「教育および学びの質の向上」の一助になれば幸甚に存じます。

2. 全学集計結果について

本報告書では、5段階の選択回答を求めた問1～問4の単純集計とそれぞれの分析、問3の回答に対する問1と問2のクロス集計とそれぞれの分析、問4の回答に対する問1、問2、問3のクロス集計とそれぞれの分析を記しました。

教育開発・学習支援センターの主たる目的「教育および学びの質の向上」ですが、教職員側と学生側とはその捉えるポイントに少しギャップがあります。そこで、問1～問3に関わる「教員の教授」と問4に関わる「学生の修学」に分け、教職員側もしくは学生側から見える本学授業の現状を理解しやすく示しました。具体的には、「教員の教授」では理解度を問う問3を中心とした分析、「学生の修学」では満足度を問う問4を中心とした分析を行っています。

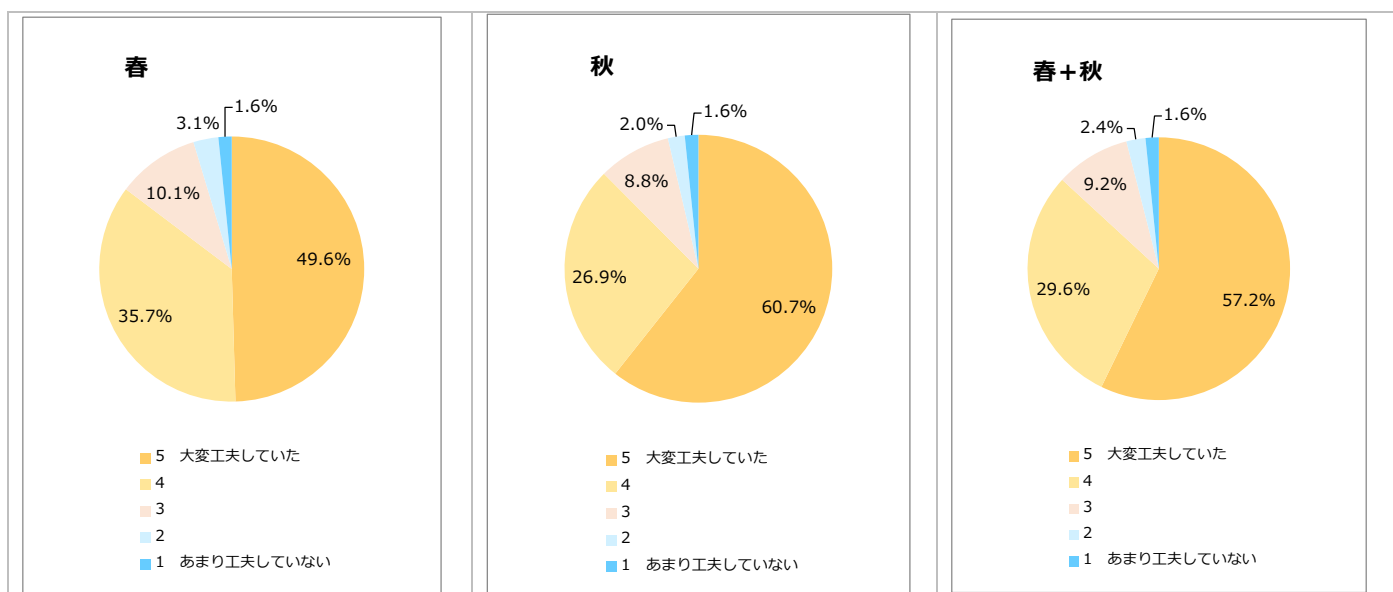
また、問1～問4の単純集計は学年別、受講者数規模別、担当教員別で集計し、全学平均値と比較した分析を行っています。さらに、アンケート回答傾向の経時推移を見るため、問1～問4の回答平均値と回答学生数の経時変化を示しました。

3. 教員の教授に関するアンケート回答について

(1) 授業の工夫に対する学生の受け止め

「学生による授業改善アンケート」の問1は、授業の工夫に対する学生の受け止めに5段階評価として尋ねています。問いは「この授業では、積極的な工夫がされていましたか。」とし、それに続き、回答へある程度のイメージをもってもらうために「例えば、熱意、授業方法、板書法、スクリーンの見やすさ、話し方、課題や主体的な学びへの促しなど。(5段階評価でご回答ください)」を追記しています。全体の回答割合(春+秋)を見ると、大変工夫していた「5」と「4」を合わせた86.8%の学生が授業に工夫があったと受け止めていました。一方、あまり工夫をしていない「1」と「2」を合わせた4.0%の学生は授業の工夫を求めています。

問1 回答全体の割合

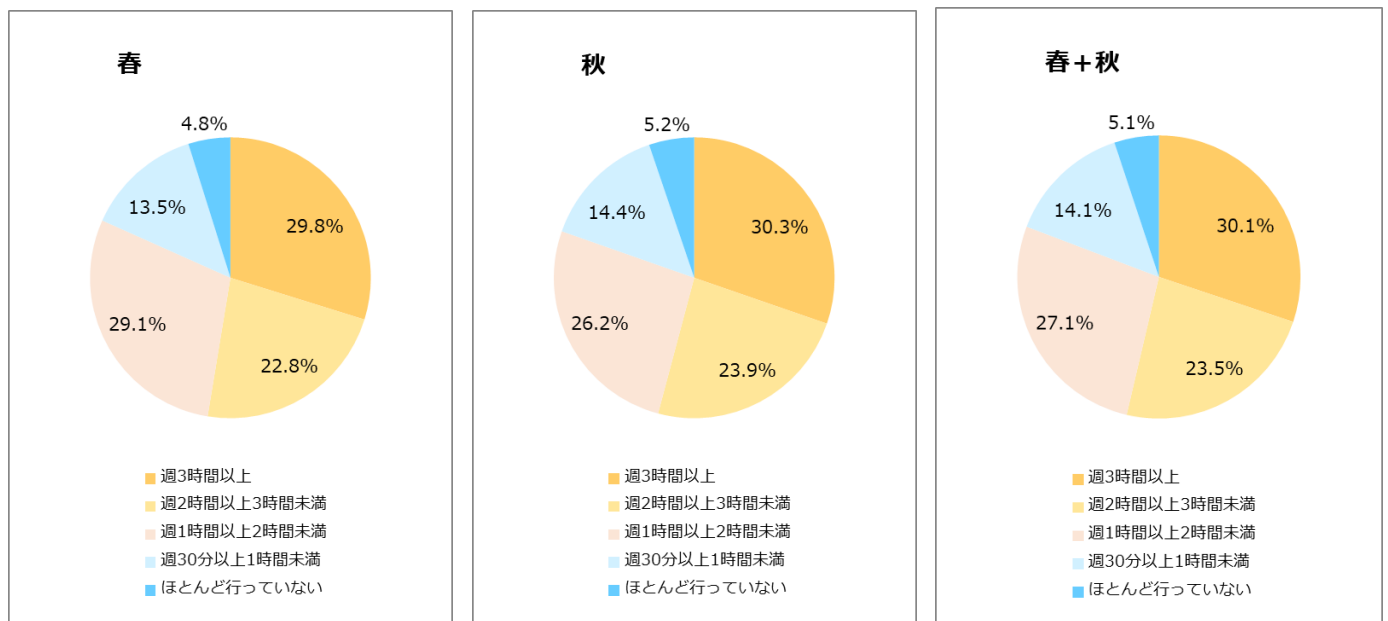


注) 春学期は法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科のみ実施。

(2) 授業外での学習への取り組み

「学生による授業改善アンケート」の問2は、授業外での学習への取り組みを5つの選択肢から尋ねています。問いは「この授業に関しては、授業時間につき、平均してどれくらいの授業外学習をしていますか。」とし、それに続き、回答へある程度のイメージをもってもらうために「例えば、予習・復習、課題、授業内容に関する図書・情報収集など、友人や教員との討論や質問も含む。」を追記しています。全体の回答割合（春+秋）を見ると、週1時間以上の授業外学習を行った学生は80.7%でした。一方、授業外での学習をほとんど行っていない学生は5.1%でした。週3時間以上の授業外学習を行った学生は30.1%で、昨年度より増加しました（昨年度：22.8%）。また、学部より多い割合でした（学部：10.2%）。

問2 回答全体の割合

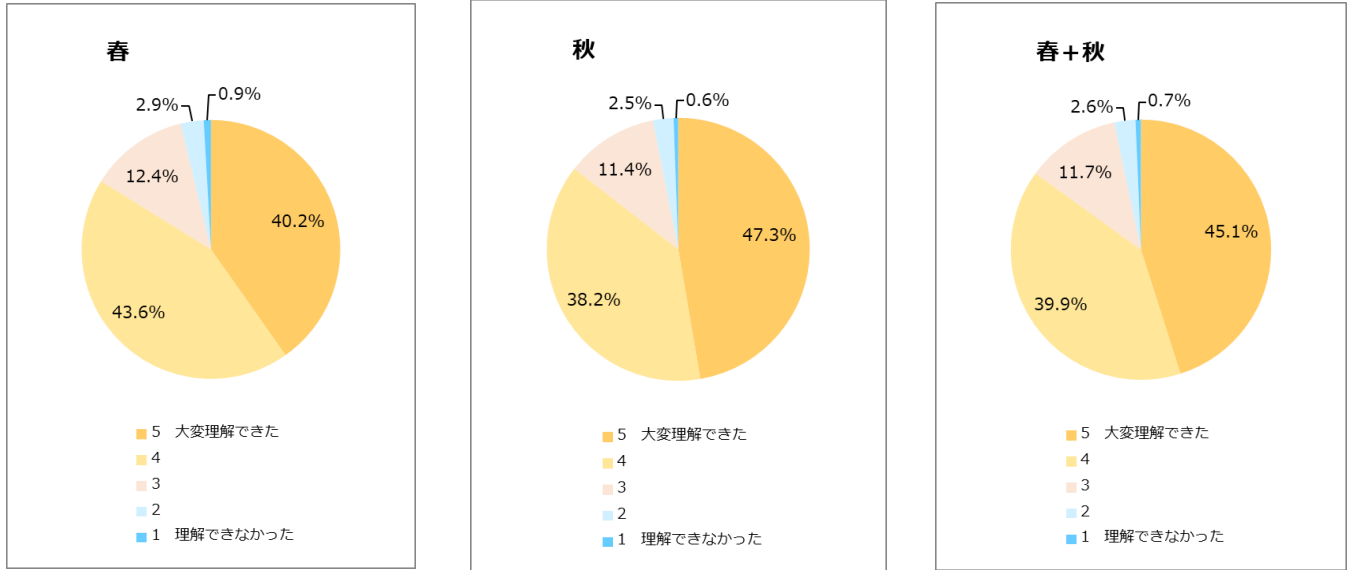


注) 春学期は法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科のみ実施。

(3) 講義内容の理解度

「学生による授業改善アンケート」の問3は「この授業内容を理解できましたか。(5段階評価でご回答ください)」として講義内容の理解度を尋ねています。全体の回答割合（春+秋）を見ると、概ね理解できた学生に当たる「5」「4」の回答割合は85.0%でした。一方、理解が困難であった「1」「2」を回答した学生は3.3%でした。

問3 回答全体の割合



注) 春学期は法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科のみ実施。

(4) 理解度と教授方法に関する回答との関連

講義内容の理解度と授業の工夫に対する学生の受け止めを調べるため、問3（理解度）と問1（授業の工夫の受け止め）のクロス集計を行いました（春+秋、以下同様）。視覚的に理解しやすくするため人数が多いセルを緑に、人数が少ないセルを黄色になるようにカラースケールを施しました（以下、同様）。理解度（問3）と授業の工夫（問1）が、無関係（独立）であるかどうかを（カイ二乗検定を用いて）調べると、無関係ではない（有意水準5%において、「独立である」という帰無仮説を棄却）ことがわかりました。クラメールの連関係数は0.40（クラメールの連関係数は、>0.25で強い関係、0.1~0.25で関係あり、0.1<で弱い関係を示す）であり、強い相関を認めました。

問1 × 問3		問1 授業の工夫					計
		5	4	3	2	1	
問3 理解度	5	37.6%	5.9%	1.0%	0.3%	0.2%	45.1%
	4	16.4%	19.3%	4.0%	0.1%	0.2%	39.9%
	3	2.6%	4.3%	3.5%	1.0%	0.3%	11.7%
	2	0.4%	0.1%	0.6%	0.9%	0.7%	2.6%
	1	0.2%	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	0.7%
計		57.2%	29.6%	9.2%	2.4%	1.6%	100.0%

講義内容の理解度と授業外での学習への取り組みの相関を調べるため、問3（理解度）と問2（授業外学習時間）のクロス集計を行いました。問3（理解度）と問2（授業外学習時間）が、無関係（独立）であるかどうかを（カイ二乗検定を用いて）調べると、無関係ではないことがわかりました。クラメールの連関係数は0.11）であり、それぞれの回答傾向にある程度の相関を認めました。概ね理解できた学生に当たる「5」「4」の回答（85%）のうち、週1時間以上の授業外学習を行った「5」「4」「3」を回答した学生は83%でした。一方、理解が困難であった学生に当たる「1」「2」の回答（3%）のうち、授業外での学習をほとんど行っていない「1」を回答した学生は3%でした。したがって、理解

度と授業外学習時間には全体として正の相関関係がある程度存在していることが確認できます。相関関係は因果関係ではありませんが、授業の理解度を上げるためには、授業外学習時間が重要になっているとも解釈することができます。一方で、修士論文に直接つながるような科目（「演習」など）の場合は、必ずしも学習時間に比例して理解が深まるとは限らない科目もあるかもしれません。探求を深めるような性質の授業の場合は、必ずしもこれは問題とならないでしょう。

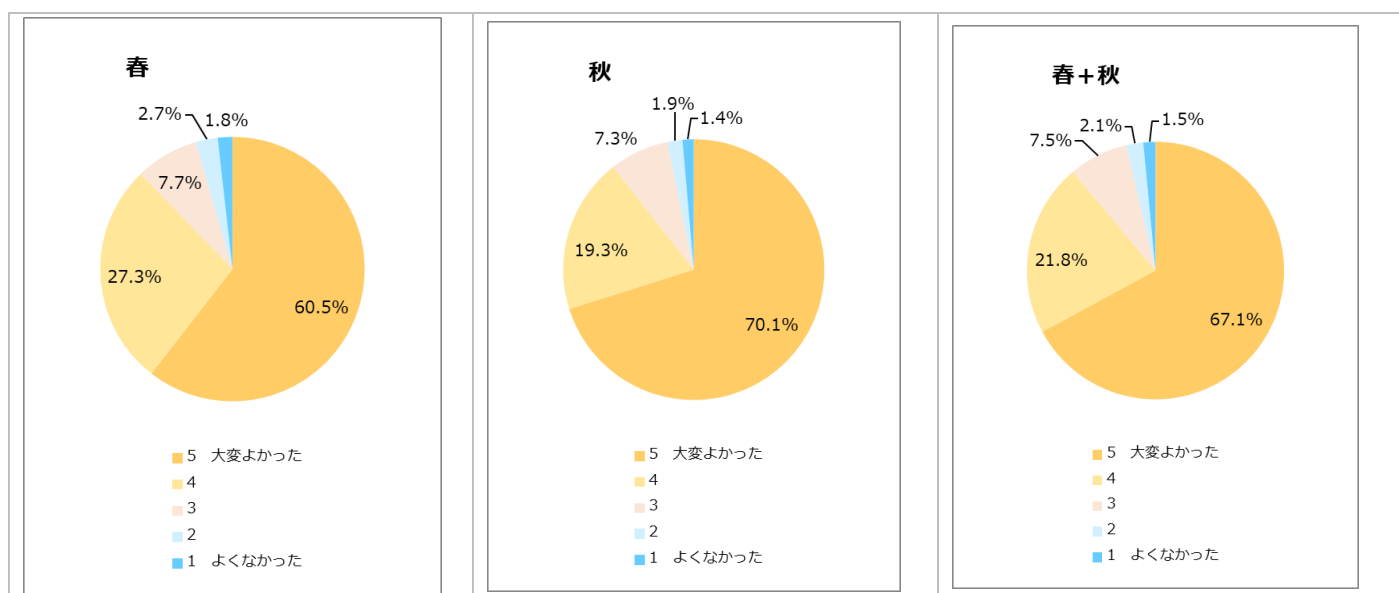
問2 × 問3		問2 授業外学習時間					計
		5	4	3	2	1	
問 3 理 解 度	5	17.3%	10.8%	10.4%	5.1%	1.6%	45.1%
	4	9.6%	10.1%	12.3%	5.8%	2.1%	39.9%
	3	2.4%	2.1%	3.3%	2.9%	1.1%	11.7%
	2	0.7%	0.4%	1.0%	0.3%	0.2%	2.6%
	1	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.7%
計		30.1%	23.5%	27.1%	14.1%	5.1%	100.0%

4. 学生の修学に関するアンケート回答について

(1) 講義の満足度

「学生による授業改善アンケート」の問4は「この授業を履修してよかったと思いますか。(5段階評価でご回答ください)」として講義の満足度を尋ねています。全体の回答割合（春+秋）を見ると、概ね満足した学生に当たる「5」「4」の回答割合は88.9%でした。一方、不満を示す「1」「2」を回答した学生は3.6%でした。

問4 回答全体の割合



(2) 満足度と教授方法に関する回答との関連

講義の満足度と授業の工夫に対する学生の受け止めを調べるため、問4（満足度）と問1（授業の工夫の受け止め）のクロス集計を行いました。問4（満足度）と問1（授業の工夫の受け止め）が、無関係（独立）であるかどうかを（カイ二乗検定を用いて）調べると、無関係ではないことがわかりました。クラメールの連関係数は0.49であり、それぞれの回答傾向に強い相関が認められました。概ね満足した学生に当たる「5」「4」の回答（89%）のうち、授業に工夫があったと受け止めた「5」「4」を回答した学生は94%であり、それに対して授業の工夫を求めた「2」「1」を回答した学生は1%でした。これらを踏まえ、全体を俯瞰すると満足と授業の工夫には概ね正相関関係があることが確認できます。相関関係は因果関係ではありませんが、授業の満足度を上げるためには、授業の工夫をすることが重要になっているとも解釈することができます。

問1 × 問4		問1 授業の工夫					計
		5	4	3	2	1	
問 4 満 足 度	5	51.2%	13.7%	2.0%	0.2%	0.1%	67.1%
	4	5.0%	13.7%	2.7%	0.2%	0.2%	21.8%
	3	0.9%	2.0%	3.5%	1.0%	0.2%	7.5%
	2	0.0%	0.3%	0.8%	0.8%	0.2%	2.1%
	1	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%	1.0%	1.5%
計		57.2%	29.6%	9.2%	2.4%	1.6%	100.0%

講義の満足度と講義内容の理解度との関係を調べるため、問4（満足度）と問3（理解度）のクロス集計を行いました。問4（満足度）と問3（理解度）が、無関係（独立）であるかどうかを（カイ二乗検定を用いて）調べると、無関係ではないことがわかりました。クラメールの連関係数は0.44であり、それぞれの回答傾向に高い相関が認められました。概ね満足した学生に当たる「5」「4」の回答（89%）のうち、概ね理解した「5」「4」を回答した学生は92%であり、それに対して授業の工夫を求めた「2」「1」を回答した学生は1%でした。これらを踏まえ、全体を俯瞰すると満足と授業の工夫には概ね相関関係があることが確認できます。相関関係は因果関係ではありませんが、授業の満足度を上げるためには、授業の理解度を上げることが重要になっているとも解釈することができます。

問3 × 問4		問3 理解度					計
		5	4	3	2	1	
問 4 満 足 度	5	41.8%	22.3%	2.8%	0.2%	0.1%	67.1%
	4	2.4%	15.5%	3.3%	0.4%	0.1%	21.8%
	3	0.7%	1.7%	4.5%	0.4%	0.1%	7.5%
	2	0.1%	0.1%	0.9%	1.0%	0.1%	2.1%
	1	0.1%	0.2%	0.2%	0.7%	0.3%	1.5%
計		45.1%	39.9%	11.7%	2.6%	0.7%	100.0%

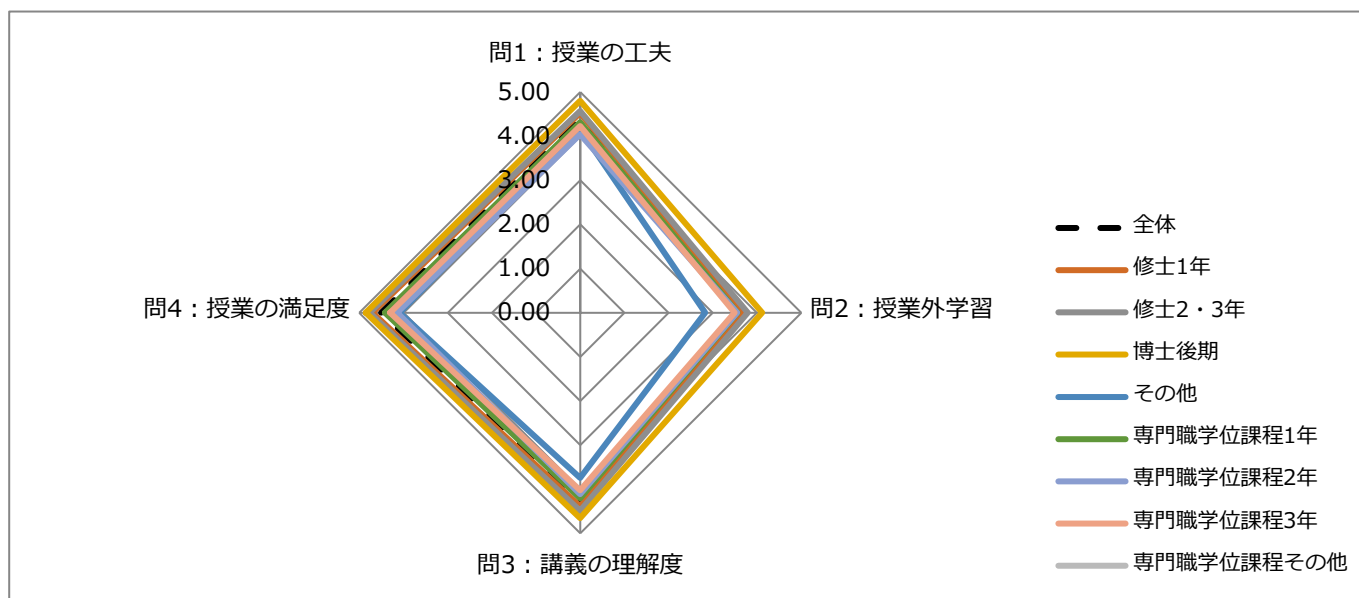
講義の満足度と授業外での学習への取り組みの相関を調べるため、問4（満足度）と問2（授業外学習時間）のクロス集計を行いました。問4（満足度）と問2（授業外学習時間）が、無関係（独立）であるかどうかを（カイ二乗検定

を用いて) 調べると、無関係ではないことがわかりました。クラメールの連関係数は 0.15 であり、それぞれの回答傾向にある程度の相関を認めました。概ね満足した学生に当たる「5」「4」の回答 (89%) のうち、週 1 時間以上の授業外学習を行った「5」「4」「3」を回答した学生は 83% でした。このように理解度と授業外学習時間に、全体として概ね正の相関関係が確認できます。相関関係は因果関係ではありませんが、授業の満足度を上げるためには、授業外学習時間がある程度重要になるとも解釈することができます。一方で、修士論文に直接つながるような科目 (「演習」など) の場合は、必ずしも学習時間に比例して満足度が高まるとは限らない科目もあるかもしれません。探求を深めるような性質の授業の場合は、必ずしもこれは問題にならないでしょう。

5. 各種別におけるアンケート回答傾向について

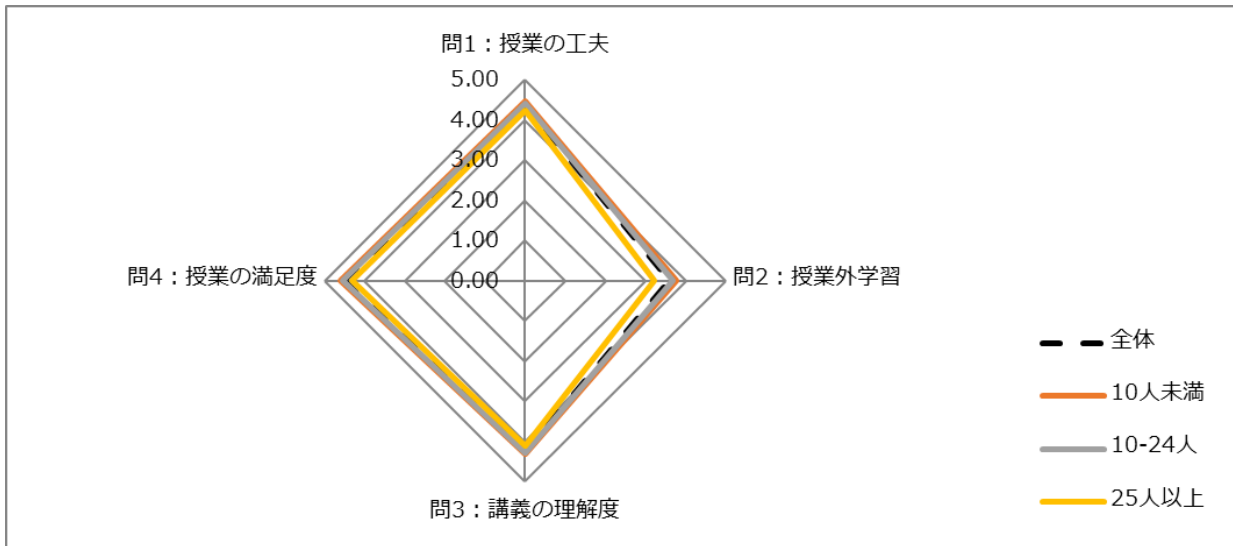
(1) 学年別

アンケート回答総数 1,785 件のうち、修士 1 年生は 597 件、修士 2・3 年生は 133 件、その他学生は 69 件、専門職学位課程 1 年生は 729 件、専門職学位課程 2 年生は 129 件、専門職学位課程 3 年生は 93 件、博士後期は 30 件でした。各学年別の回答集計実数は巻末データ (1) に示しています。各学年別の回答集計実数は巻末データ (1) に示しています。各学年におけるアンケート回答傾向について、問 1 から問 4 のそれぞれの回答を「1」～「5」の平均値として算出し、レーダーチャートで全体と比較しました。修士で比較すると、1 年と 2 年以上で授業外学習時間に差が見られます。これは、修士論文の執筆に関連することに時間を費やすことが影響していると考えられます。



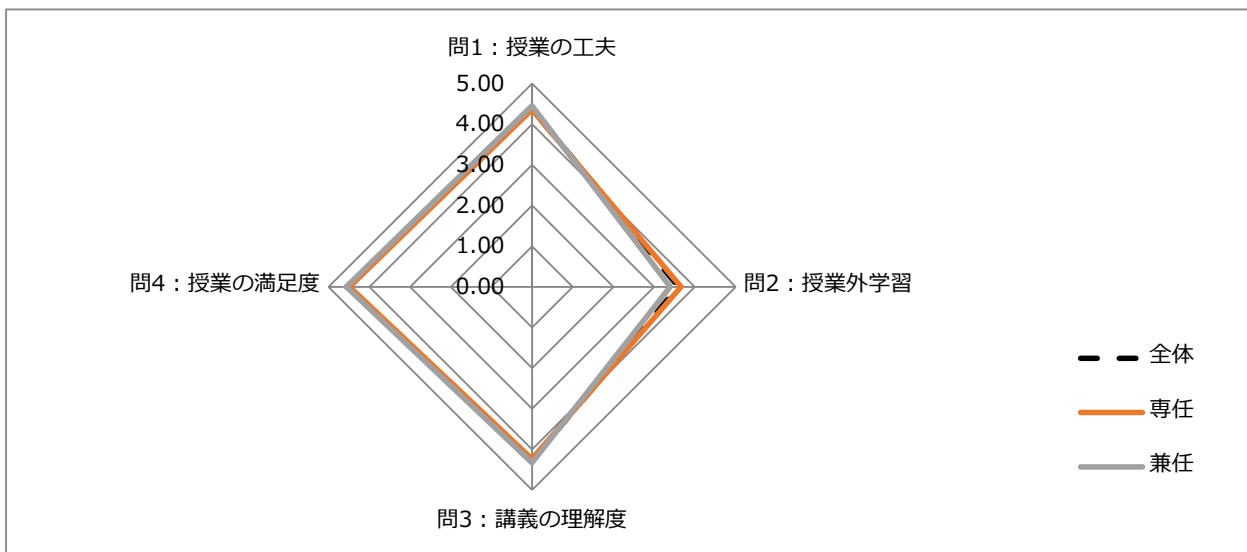
(2) 受講者数規模別

アンケート回答総数 1,785 件のうち、10 人未満は 565 件、10-24 人は 796 件、25 人以上は 424 件でした。各科目種別の回答集計実数は巻末データ (1) に示しています。各科目種別におけるアンケート回答傾向について、問 1 から問 4 のそれぞれの回答を「1」～「5」の平均値として算出し、レーダーチャートで全体と比較しました。25 人以上の授業において授業外学習時間が少ない傾向があります。



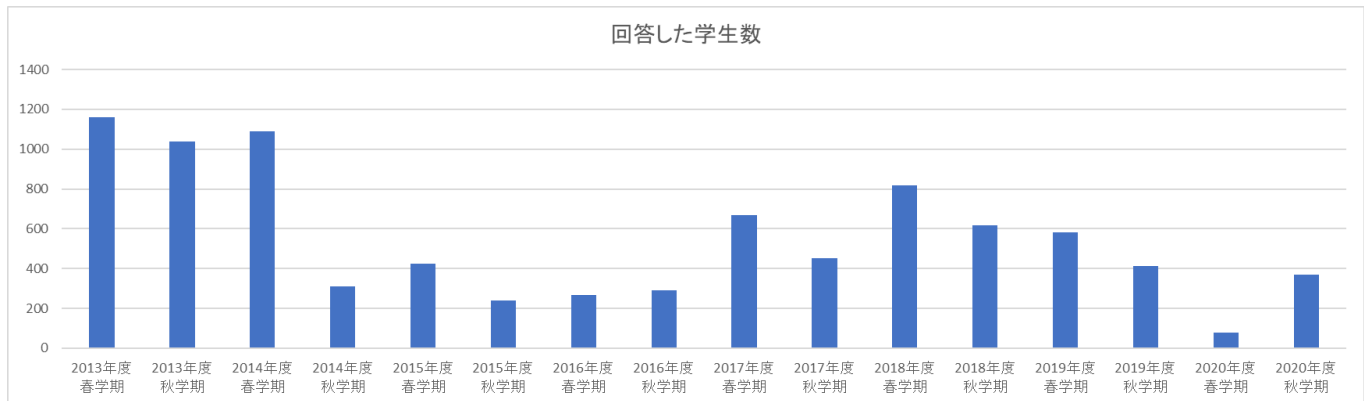
(3) 担当教員別

アンケート回答総数 1,785 件のうち、専任は 1,334 件、兼任は 451 件でした。担当教員別の回答集計実数は巻末データ(1)に示しています。担当教員別におけるアンケート回答傾向について、問1から問4のそれぞれの回答を「1」～「5」の平均値として算出し、レーダーチャートで全体と比較しました。授業への理解度と満足度においては、専任と兼任に大きな違いはありませんでした。



6. アンケート回答傾向の経時推移

回答した学生数の過去5年間における推移を見ると、紙媒体で授業内実施を行っていた2014年度春学期までは約1,000名超でした。アンケートをweb化し、実施時期を期間内任意で行っていた2016年度秋学期までは約300名に減少しました。2017年度春学期から、web化にフィットした新しいアンケート内容に刷新するとともに授業内実施としました。その結果、回答した学生数は増加し2018年度は1,434名となりましたが、2020年度春学期は法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科のみ実施したため、前年度と比較して回答者数が大きく減少しましたが、秋学期に回答者数は回復しました。



各実施時期におけるアンケート回答傾向について、問1から問4のそれぞれの回答を「1」～「5」の平均値として算出し、2017年度春学期からの経時的変化を観察しました。授業の工夫を尋ねた問1は、2020年度春学期の平均値4.29が秋学期は4.43に上がりました。授業外学習時間を尋ねた問2は、2020年度春学期の平均値3.59が秋学期でもほぼ同じ3.60となりました。講義内容の理解度を尋ねた問3は、2020年度春学期の平均値4.19が秋学期でもほぼ同じ4.29となりました。授業の満足度を尋ねた問4は、2020年度春学期の平均値4.42が秋学期でもほぼ同じ4.55となりました。問2については、昨年度から増加傾向にあることがわかります。

	2017年度 春学期	2017年度 秋学期	2018年度 春学期	2018年度 秋学期	2019年度 春学期	2019年度 秋学期	2020年度 春学期	2020年度 秋学期
回答した学生数	668	451	818	616	580	414	78	368
問1	4.38	4.50	4.36	4.45	4.36	4.49	4.29	4.43
問2	3.11	3.25	3.29	3.37	3.23	3.35	3.59	3.60
問3	4.17	4.34	4.18	4.25	4.19	4.35	4.19	4.29
問4	4.47	4.60	4.45	4.52	4.46	4.55	4.42	4.55

7. おわりに

教員の教授を中心とした分析から、研究科の学生は（1）本学教員の教授に対する工夫が概ね行われている印象をもち、（2）授業外学習時間は概ね週1時間以上であり、（3）概ね理解したと感じていることがわかりました。また、理解度と教授の工夫には強い正の相関関係、理解度と授業外時間には弱い相関関係を確認できました。理解度と教授の工夫の正の相関関係の因果を考慮すれば、教授の工夫が理解度に影響を及ぼしていると考えられます。本年度は、

81%が教授の工夫している印象をもち、かつ理解を示しました。今後は、この割合の増加が期待されます。これらの学生主体のアンケート結果より、教員が取り組むべき授業改善のポイントは「知識・技能の習得」「知識・技能を実践・応用する能力の育成」「自ら問題の発見・解決に取り組む力の涵養」に大別されるところと考えます。教育開発・学習支援センターでは、教員に対する「教育の質の向上」の全般をサポートするため、以下のような活動を行っています。また、「授業改善アンケート」の自由記述は各授業に対する学生からの直接の声として、各授業個別に改善などに活用がなされてきています。これらを活用することで、学生の修学に対する積極的な対応が可能だと考えています。

- ・個別授業を支援する制度「授業リフレクションのための学生による授業参観」の提供
- ・ゼミ・研究活動の指導を支援する「ゼミ活動等を対象とした学生向けループリック」の提供
- ・最先端のFD活動を紹介するFDセミナー等の開催
- ・英語による授業を支援する「アカデミック・サポートサービス」の提供
- ・論文やレポートに対して剽窃チェックを行うソフト「Turnitin」の提供

教育開発・学習支援センターの目的は「ファカルティ・デベロップメント（FD）を中心に、本学での主体的な教育改善と主体的な学習を効果的に支援すること」と表しています。専門職大学の開設、大学入試制度の改革、卓越大学院構想など、日本国内の大学行政改革が激しく進む中、大学はより高度な知的創造力をもつ人材育成が求められており、大学院が果たすべき社会的役割も変化しています。大学院でのより高度な教育研究に対して、有益なサポートを教育開発・学習支援センターでは行ってまいります。今後とも、「授業改善アンケート」をはじめ教育開発・学習支援センターの活動へのご協力をどうぞお願い申し上げます。

お問い合わせ： 法政大学教育開発支援機構教育開発・学習支援センター (<http://www.hoseikyoiku.jp/lf/>)
事務局 学務課教育支援課 Tel: 03-3264-9040 E-mail: kyoiku@hosei.ac.jp

大学院データ（1）：2020年度全学集計表（春学期＋秋学期）

問1. この授業では、積極的な工夫がされていましたか。例えば、熱意、授業方法、板書法、スクリーンの見やすさ、話し方、課題や主体的な学びへの促しなど。（5段階評価でご回答ください）ただし、春学期は法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科のみ実施。

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	5 大変工夫 していた	4	3	2	1 あまり工夫 していない
<総計>	509	446	1,785	1,021	529	164	42	29
<受講者数規模別>								
10人未満	272	-	565	368	128	50	8	11
10-24人	204	-	796	466	234	61	24	11
25人以上	33	-	424	187	167	53	10	7
<学年別>								
修士1年	-	178	597	388	152	43	11	3
修士2・3年	-	73	133	90	34	5	3	1
博士後期	-	17	35	30	3	2	0	0
その他	-	34	69	33	19	13	3	1
専門職学位課程1年	-	104	729	379	249	67	21	13
専門職学位課程2年	-	24	129	57	40	21	2	9
専門職学位課程3年	-	16	93	44	32	13	2	2
専門職学位課程その他	-	0	0	-	-	-	-	-
<担当教員別>								
専任	359	-	1,334	741	409	129	35	20
兼任	150	-	451	280	120	35	7	9

問2. この授業に関しては、授業時間につき、平均してどれくらいの授業外学習をしていますか。例えば、予習・復習、課題、授業内容に関する図書・情報収集など、友人や教員との討論や質問含む。ただし、春学期は法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科のみ実施。

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	週3時間以上	週2時間以上 3時間未満	週1時間以上 2時間未満	週30分以上 1時間未満	ほとんど 行っていない
<総計>	509	446	1,785	538	420	484	252	91
<受講者数規模別>								
10人未満	272	-	565	184	164	137	60	20
10-24人	204	-	796	267	183	207	100	39
25人以上	33	-	424	87	73	140	92	32
<学年別>								
修士1年	-	178	597	190	150	159	73	25
修士2・3年	-	73	133	47	35	31	16	4
博士後期	-	17	35	16	11	4	4	0
その他	-	34	69	10	10	19	18	12
専門職学位課程1年	-	104	729	210	165	207	115	32
専門職学位課程2年	-	24	129	37	32	34	17	9
専門職学位課程3年	-	16	93	28	17	30	9	9
専門職学位課程その他	-	0	0	-	-	-	-	-
<担当教員別>								
専任	359	-	1,334	420	321	375	160	58
兼任	150	-	451	118	99	109	92	33

問 3. この授業内容を理解できましたか。(5段階評価でご回答ください) **ただし、春学期は法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科のみ実施。**

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	5 大変理解 できた	4	3	2	1 理解でき なかった
<総計>	509	446	1,785	805	712	209	47	12
<受講者数規模別>								
10人未満	272	-	565	280	210	54	18	3
10-24人	204	-	796	373	312	90	14	7
25人以上	33	-	424	152	190	65	15	2
<学年別>								
修士1年	-	178	597	307	222	62	5	1
修士2・3年	-	73	133	80	43	7	1	2
博士後期	-	17	35	25	9	0	1	0
その他	-	34	69	14	29	21	4	1
専門職学位課程1年	-	104	729	300	314	83	27	5
専門職学位課程2年	-	24	129	50	53	19	4	3
専門職学位課程3年	-	16	93	29	42	17	5	0
専門職学位課程その他	-	0	0	-	-	-	-	-
<担当教員別>								
専任	359	-	1,334	579	554	150	42	9
兼任	150	-	451	226	158	59	5	3

問 4. この授業を履修してよかったですか。(5段階評価でご回答ください) **ただし、春学期は法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科のみ実施。**

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	5 大変よかった	4	3	2	1 よくなかった
<総計>	509	446	1,785	1,198	389	133	38	27
<受講者数規模別>								
10人未満	272	-	565	414	103	25	14	9
10-24人	204	-	796	558	154	61	13	10
25人以上	33	-	424	226	132	47	11	8
<学年別>								
修士1年	-	178	597	471	87	28	9	2
修士2・3年	-	73	133	110	17	4	2	0
博士後期	-	17	35	31	3	1	0	0
その他	-	34	69	32	16	17	3	1
専門職学位課程1年	-	104	729	440	201	56	16	16
専門職学位課程2年	-	24	129	69	31	16	5	8
専門職学位課程3年	-	16	93	45	34	11	3	0
専門職学位課程その他	-	0	0	-	-	-	-	-
<担当教員別>								
専任	359	-	1,334	876	307	99	31	21
兼任	150	-	451	322	82	34	7	6

大学院データ（2）：2020年度全学集計表（春学期のみ）

問1. この授業では、積極的な工夫がされていたか。例えば、熱意、授業方法、板書法、スクリーンの見やすさ、話し方、課題や主体的な学びへの促しなど。(5段階評価でご回答ください)

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	5 大変工夫 していた	4	3	2	1 あまり工夫 していない
<総計>	98	78	557	276	199	56	17	9
<受講者数規模別>								
10人未満	48	-	84	39	26	14	3	2
10-24人	39	-	206	125	53	17	9	2
25人以上	11	-	267	112	120	25	5	5
<学年別>								
修士1年	-	4	5	3	2	0	0	0
修士2・3年	-	2	2	1	1	0	0	0
博士後期	-	0	0	-	-	-	-	-
その他	-	0	0	-	-	-	-	-
専門職学位課程1年	-	52	449	225	164	39	15	6
専門職学位課程2年	-	13	63	28	21	12	0	2
専門職学位課程3年	-	7	38	19	11	5	2	1
専門職学位課程その他	-	0	0	-	-	-	-	-
<担当教員別>								
専任	82	-	506	242	186	53	16	9
兼任	16	-	51	34	13	3	1	0

問2. この授業に関しては、授業時間につき、平均してどれくらいの授業外学習をしていますか。例えば、予習・復習、課題、授業内容に関する図書・情報収集など、友人や教員との討論や質問含む。

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	週3時間以上	週2時間以上 3時間未満	週1時間以上 2時間未満	週30分以上 1時間未満	ほとんど 行っていない
<総計>	98	78	557	166	127	162	75	27
<受講者数規模別>								
10人未満	48	-	84	29	29	17	7	2
10-24人	39	-	206	85	43	55	19	4
25人以上	11	-	267	52	55	90	49	21
<学年別>								
修士1年	-	4	5	1	2	2	0	0
修士2・3年	-	2	2	0	0	0	2	0
博士後期	-	0	0	-	-	-	-	-
その他	-	0	0	-	-	-	-	-
専門職学位課程1年	-	52	449	128	104	131	63	23
専門職学位課程2年	-	13	63	23	15	16	6	3
専門職学位課程3年	-	7	38	14	6	13	4	1
専門職学位課程その他	-	0	0	-	-	-	-	-
<担当教員別>								
専任	82	-	506	146	115	150	70	25
兼任	16	-	51	20	12	12	5	2

問3. この授業内容を理解できましたか。(5段階評価でご回答ください)

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	5 大変理解 できた	4	3	2	1 理解でき なかった
<総計>	98	78	557	224	243	69	16	5
<受講者数規模別>								
10人未満	48	-	84	32	35	14	2	1
10-24人	39	-	206	99	82	19	4	2
25人以上	11	-	267	93	126	36	10	2
<学年別>								
修士1年	-	4	5	2	3	0	0	0
修士2・3年	-	2	2	1	1	0	0	0
博士後期	-	0	0	-	-	-	-	-
その他	-	0	0	-	-	-	-	-
専門職学位課程1年	-	52	449	185	195	52	14	3
専門職学位課程2年	-	13	63	23	27	11	0	2
専門職学位課程3年	-	7	38	13	17	6	2	0
専門職学位課程その他	-	0	0	-	-	-	-	-
<担当教員別>								
専任	82	-	506	195	228	62	16	5
兼任	16	-	51	29	15	7	0	0

問4. この授業を履修してよかったと思いますか。(5段階評価でご回答ください)

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	5 大変よかった	4	3	2	1 よくなかった
<総計>	98	78	557	337	152	43	15	10
<受講者数規模別>								
10人未満	48	-	84	49	25	7	2	1
10-24人	39	-	206	148	38	13	4	3
25人以上	11	-	267	140	89	23	9	6
<学年別>								
修士1年	-	4	5	4	0	0	1	0
修士2・3年	-	2	2	2	0	0	0	0
博士後期	-	0	0	-	-	-	-	-
その他	-	0	0	-	-	-	-	-
専門職学位課程1年	-	52	449	280	118	31	12	8
専門職学位課程2年	-	13	63	33	16	11	1	2
専門職学位課程3年	-	7	38	18	18	1	1	0
専門職学位課程その他	-	0	0	-	-	-	-	-
<担当教員別>								
専任	82	-	506	301	141	40	15	9
兼任	16	-	51	36	11	3	0	1

大学院データ（3）：2020年度全学集計表（秋学期のみ）

問1. この授業では、積極的な工夫がされていましたか。例えば、熱意、授業方法、板書法、スクリーンの見やすさ、話し方、課題や主体的な学びへの促しなど。(5段階評価でご回答ください)

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	5 大変工夫 していた	4	3	2	1 あまり工夫 していない
<総計>	411	368	1,228	745	330	108	25	20
<受講者数規模別>								
10人未満	224	-	481	329	102	36	5	9
10-24人	165	-	590	341	181	44	15	9
25人以上	22	-	157	75	47	28	5	2
<学年別>								
修士1年	-	174	592	385	150	43	11	3
修士2・3年	-	71	131	89	33	5	3	1
博士後期	-	17	35	30	3	2	0	0
その他	-	34	69	33	19	13	3	1
専門職学位課程1年	-	52	280	154	85	28	6	7
専門職学位課程2年	-	11	66	29	19	9	2	7
専門職学位課程3年	-	9	55	25	21	8	0	1
専門職学位課程その他	-	0	0	-	-	-	-	-
<担当教員別>								
専任	277	-	828	499	223	76	19	11
兼任	134	-	400	246	107	32	6	9

問2. この授業に関しては、授業時間につき、平均してどれくらいの授業外学習をしていますか。例えば、予習・復習、課題、授業内容に関する図書・情報収集など、友人や教員との討論や質問含む。

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	週3時間以上	週2時間以上 3時間未満	週1時間以上 2時間未満	週30分以上 1時間未満	ほとんど 行っていない
<総計>	411	368	1,228	372	293	322	177	64
<受講者数規模別>								
10人未満	224	-	481	155	135	120	53	18
10-24人	165	-	590	182	140	152	81	35
25人以上	22	-	157	35	18	50	43	11
<学年別>								
修士1年	-	174	592	189	148	157	73	25
修士2・3年	-	71	131	47	35	31	14	4
博士後期	-	17	35	16	11	4	4	0
その他	-	34	69	10	10	19	18	12
専門職学位課程1年	-	52	280	82	61	76	52	9
専門職学位課程2年	-	11	66	14	17	18	11	6
専門職学位課程3年	-	9	55	14	11	17	5	8
専門職学位課程その他	-	0	0	-	-	-	-	-
<担当教員別>								
専任	277	-	828	274	206	225	90	33
兼任	134	-	400	98	87	97	87	31

問3. この授業内容を理解できましたか。(5段階評価でご回答ください)

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	5 大変理解 できた	4	3	2	1 理解でき なかった
<総計>	411	368	1,228	581	469	140	31	7
<受講者数規模別>								
10人未満	224	-	481	248	175	40	16	2
10-24人	165	-	590	274	230	71	10	5
25人以上	22	-	157	59	64	29	5	0
<学年別>								
修士1年	-	174	592	305	219	62	5	1
修士2・3年	-	71	131	79	42	7	1	2
博士後期	-	17	35	25	9	0	1	0
その他	-	34	69	14	29	21	4	1
専門職学位課程1年	-	52	280	115	119	31	13	2
専門職学位課程2年	-	11	66	27	26	8	4	1
専門職学位課程3年	-	9	55	16	25	11	3	0
専門職学位課程その他	-	0	0	-	-	-	-	-
<担当教員別>								
専任	277	-	828	384	326	88	26	4
兼任	134	-	400	197	143	52	5	3

問4. この授業を履修してよかったですか。(5段階評価でご回答ください)

項目	回答された 授業数	回答した 学生数	回答総数	5 大変よかった	4	3	2	1 よくなかった
<総計>	411	368	1,228	861	237	90	23	17
<受講者数規模別>								
10人未満	224	-	481	365	78	18	12	8
10-24人	165	-	590	410	116	48	9	7
25人以上	22	-	157	86	43	24	2	2
<学年別>								
修士1年	-	174	592	467	87	28	8	2
修士2・3年	-	71	131	108	17	4	2	0
博士後期	-	17	35	31	3	1	0	0
その他	-	34	69	32	16	17	3	1
専門職学位課程1年	-	52	280	160	83	25	4	8
専門職学位課程2年	-	11	66	36	15	5	4	6
専門職学位課程3年	-	9	55	27	16	10	2	0
専門職学位課程その他	-	0	0	-	-	-	-	-
<担当教員別>								
専任	277	-	828	575	166	59	16	12
兼任	134	-	400	286	71	31	7	5